学校番号	3027

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校　現代の国語（数研出版）						
副教材等	高校国語へのハイブリッジ（東京書籍） 三訂版　漢字検定７～２級対応　書きたくなる　アシスト常用漢字（数研出版） 図でつかむ　リード現代文１　二訂版（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・グループや個人での発表があるので、わかりやすい発表ができるよう考えをまとめたり、話したりするようにしましょう。
・さまざまな文章を書く授業もあります。自分の思いや考えたことを適切に表現できるよう練習しましょう。
・小テストを定期的に実施します。そのほか授業で扱うワークシートやノートに、しっかりと書き込み、まとめておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実生活に必要な漢字の知識や語彙力を身に付けようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論とはどのような文章か理解する。 ［教材］ 「論理的ということ」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	パフォーマンス課題 定期考査	パフォーマンス課題 観察
	対比の構造について理解する。 ［教材］ 「水の東西」	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
	自分の意見を、構成を工夫して書く。 ［教材］ 対比して書く	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：文章の展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。			
	一般論と主張について理解する。 ［教材］ 「わらしべ長者」の経済学	a：文、話、文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。			
	主張に対する自分の考えを文章にまとめる。 ［教材］ 「ポスト・プライバシー」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：論理的な文章と複数の資料を積極的に読み比べることで実社会に関する考察を深め、学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。			
	情報を比較し、違いについて話し合う。 ［教材］・ 情報とメディア	a：　実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]：目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討している。 c：具体的な話題について、マス・メディアに掲載された情報と、インターネット上で個人が発信している情報とを積極的に集			

		め、課題に沿って考えたことをまとめようとしている。			
二学期	レトリックについて理解する。 ［教材］ 「コインは円形か」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c：筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 定期考査	パフォーマンス課題 観察
	コミュニケーションの手段を考える。 ［教材］ 「非言語コミュニケーション」	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[話/聞]： 目的に応じて実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討している。 c：文章と図が示す内容をあわせて理解し、具体的な事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに積極的に参加しようとしている。			
	具体と抽象について理解する。 ［教材］ 「ものとことば」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。			
	具体例の内容を文章にまとめる。 ［教材］ 「人と自然の共生とはどういうことか」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]：目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：身の回りや社会の中から積極的に適切な事例を調査し、学習課題に沿ってわかりやすくまとめようとしている。			
	環境問題について調べ、発表する。 ［教材］ 環境問題のこれから	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを発表しようとしている。			
	適切な引用をするなど、説明の仕方を考えて書く。 ［教材］ 「絵を前に思いをめぐらす」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。			

		c：異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている			
二学期	意見と根拠を明確にして、一貫性のある文書を書く。 ［教材］ 「命は誰のものなのか」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。 c：筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。			
三学期	文章の論理の展開を捉えて説明する。 ［教材］ 「他者を理解するということ」	a： 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 定期考査	パフォーマンス課題 観察
	具体的な事例を挙げて話し合い、発表する。 ［教材］ 自己と他者の理解とは	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えをまとめようとしている。			
	同じテーマの文書を関連付けて読む。 ［教材］ 「時間と自由の関係について」	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。			
	読み手が必要とする情報に応じて企画書を書く。 ［教材］ 文章の構成を工夫して提案する	a： 実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c： 資料等を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に企画書を作成しようとしている。			
	集めた情報と検討内容を資料にまとめ、発表する。	a： 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。			

	［教材］ 課題を発見し解決策を発表する	b[話/聞]:目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c: 課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間